

## じいじ、いつもありがとう

茨城県

石岡市立園部小学校一年

## たかくわかな

「かなが、ひかれつちまつたらたいへんだ。」と、いつもいいながら、あめのひもかぜのひもはれのひも、おくりむかえをしてくれるじいじ。わたしが、しょうがつこうへはいるまえから、

「いいか、かな。どうろわたるときは、てをあげて、みぎみてひだりみて、またみぎみてわたるんだぞ。」

と、みみがいたくなるぐらいはなしてくれまます。それは、とうこうはんのおともだちといっしょにいくのに、わたしが、しんごうのないどうろを、わたらなければならぬからです。じいじといると、あさおともだちがくるまで、くさばなやむしやとりをみつめて、なまえをおしえてくれます。なんでも、ものしりじいじです。

「かなしつてるか。カナカナカナと、なくセミがいるんだぞ。」

「えつ、ほんとー。かなとおなじなまえだね。」

「いいや、カナといつても、ヒグラシというなまえなんだよ。」

「こんど、つかまえてみせてね。」  
と、あさがつこうへいくあいだのおしゃべりが、とつてもたのしいです。

なつやすみにはいつて、じいじが、  
「かないたぞ。カナカナゼミ。」

と、わたしをよびました。セミは、みんなおなじとおもっていたけど、ちかくでみると、めやはねのもようもいろいろあるところにきがきました。

「カナ、カナ、カナ、カナ。」

なんだか、しんせきのおばあちゃんによばれているようで、ふしぎなきもちになりました。

「かな、セミのいのちは、なつだけのみじかいのちなんだよ。かなもパパやママがいるように、セミもかぞくがまつてるから、にがしてやろうな。」

とじいじがいつたことをおもいだして、つかまえたセミをかんなつしてからにがしました。

「カナゼミ、バイバイ。おうちにまつすぐかえるんだよ。」

とわたしは、おおきなこえでいいました。そして、あれとおもいました。じいじが、

「よりみちしねえで、まつすぐかえつてくんのだぞ。」

といわれていたことを、おもいだしたからです。じいじが、しんばいしていつてくれたことにカナゼミにあつて、きがつきました。じいじは、いつもわたしが、ほしいものをみつめてくれたり、かつてくれます。そんなじいじがだいすきです。

じいじは、にわをたいせつにしています。たくさんはなをうえてあるので、わたしも、はなのみずかけのおてつだいをすると、

「かな、ありがとな。」

えがおで、いつてくれます。いままで、はずかしくて「ありがとう」と、いえなかつたので、これからは、げんきよくいたいです。